

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	こども療育スポット キャンパス			
○保護者評価実施期間	令和7年3月3日 ～ 令和7年3月17日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	令和7年3月3日 ～ 令和7年3月10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	＜環境＞ 常に清潔に心地よく過ごせるようにし、子ども達の活動に合う生活空間にしている	- 午後2時と支援終了後の清掃、2時間毎のドアノブ等消毒、1時間毎の換気を行い、視覚的に安らげるように玄関・トイレなどに花を飾っている - 活動スペースには、ローテーブルと椅子、本のみを配置し、玩具等は別の場所に置き、落ち着ける活動しやすい空間にしている	引き続き、「清掃箇所・消毒時間のチェック表」を活用し、清掃等を徹底する
2	＜適切な支援＞ 子どもが自己選択及び自己決定する力を育てるための支援を行っている	- 宿題、おやつ、活動などその日にすること・しないこと、その内容等を自分で選べるように、一緒に予定を確認したり提案したりしている - 活動では、子どもが1人及び複数人でサーキットのコースを考えたり、好きなことわざについて発表したり、季節のテーマの製作を自由に発想して作れるようにしたりして、自己決定をする力を育てるための支援を行っている	引き続き、子どもの主体性を尊重し、自発行動を促すような関わりと支援を行う
3	＜保護者様への説明等＞ 日頃から子どもの状況を保護者様と伝え合い、定期的に面談を行っている。保護者から、職員から共感的に支援されていると回答を頂いている	- 連絡帳の活用、必要時の電話、年2回の面談等で、子どもに関する共通理解を図っている - 電話や送迎時、全職員が保護者様に対して節度を持った応対を心がけている	保護者様と、子どもに関する密なやりとりが出来るように、きめ細かい支援と職員間の共通理解を行い、保護者に対して良識ある応対を常とする

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	会報は発行していない	- 保護者様からの事業所評価及び自己評価は、ホームページでの公開と紙面配付をしている - 日々の活動内容等は、連絡帳と必要時は電話でお知らせをし、半年毎の面談に合わせて、子どもと所内の様子を直に見て頂いているので、会報等は発行していなかった	保護者様に事業所の取り組みや活動の様子などを総括的に伝えられるように会報を発行する。
2			
3			